



# 共に学ぶ

学校支援ボランティアセンター (SSVC)

## 第28号 (年2回発行)

狭山市学校支援ボランティアセンター  
＜事務所＞

狭山市狭山台1-21  
狭山元気プラザ内A棟3F

☎/Fax 04-2927-1395

E-mail: [sayama-ssvc@bd.wakwak.com](mailto:sayama-ssvc@bd.wakwak.com)

電話受付: 月・水・金曜日午後1時~4時迄

### 学校と地域が力を合わせて

狭山市教育委員会 社会教育課 課長 奥富 悟

日頃より、狭山市学校支援ボランティアセンターの皆様には、市内小・中学校への学習支援につきまして、多大なるご貢献をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大は依然として収束の見通しが立たず、感染防止のため、従来のような学校現場での学習支援活動を行うことが困難な状況となっております。このことは、支援していただくボランティアの皆様にとっても、そしてなにより、学校や子供たちにとって大変残念なことです。子供たちにとって皆様との関係は、先生や家族とはまた違った、多様な人たちとつながりながら学ぶことができる機会であり、知ることの喜びや達成感を味わい、人と交流する楽しさを共有できる貴重な経験となっております。一日も早い状況の回復が望まれます。

さて、社会の目まぐるしい変化に伴い、学校や地域における課題も多様化しています。こうした状況に対応していくため、狭山市では、地域



住民、保護者、NPOや様々な団体等幅広い人や団体が参画し、学校と連携・協働することにより、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指す仕組みづくり(地域学校協働活動)に取り組んで参ります。

学校支援ボランティアの皆様には、これまで培った多くの知識や経験を活かし、引き続き学校支援活動へのご協力をお願い申し上げます。

### SSVCの可能性

市立西中学校 校長 浅沼 俊英

今年度、西中学校の校長として着任しました。西中学校に勤務するのは、これで3度目となります。西中学校は、私が初めて勤務した30数年前も大規模な学校でしたが、現在も、当時と比べれば生徒数が半数以下となったものの市内最大規模の中学校です。

現在の西中学校は、これまでに西中学校に携わってきていただいた多くの方々のご指導、ご支援により、生徒たちは大変落ち着いた学校生活を送っています。コロナ禍にあり、制約された環境でも前向きに力を発揮してくれています。

さて、学校支援ボランティアセンター(SSVC)の皆様には、平素より、本校にご支援をいただき心より感謝を申し上げます。私は、以前より、SSVCという組織は、児童生徒にとって大変貴重で、他に類を



見ない強力な学校支援の組織であり、大きな可能性をもっていると考えていました。例えば、現在のようなコロナ禍が続いても、ICTを活用して、SSVCの皆さんが在宅のまま児童生徒の学習支援ができないものでしょうか。

また、ICTを活用して、不登校の児童生徒への学習支援ができないものでしょうか。

このように考えると、SSVCという組織は、その可能性、その潜在的価値が大変大きいものであると感じています。

今後も、各学校へのご支援を賜れますようお願いいたします。

## コロナ禍の逆境に立ち向かう

SSVC センター長 諸井 寿夫

「転んでもただでは起きない」という故事をご存知のことと思います。例えば、道路で転んだとしても、その道に落ちている何か役に立ちそうなものを掴んで起き上がるということです。このコロナ禍の逆境で、世界中で大変な苦境に立たされ、日常の生活も3密を避け、ソーシャルデスタンスを保つようにと強いられています。

このコロナ禍において企業の廃業や倒産で失業者が増え、リモートワークなど慣れない状況下で苦勞する人も多く、以前の生活と状況が一変しました。経済活動の再開が大きな課題となる中「ウィズ・コロナ＝コロナとの共存」に動き出す企業、社会が出てきております。

現在の学校教育においては、休日や夏休み、学校行事等が削られる一方、普段以上の速さでの詰め込み授業と多くの宿題で、内容を終わらせることに躍起になる学校、負荷が高く、時間的・精神的なゆとりを無くした学校では、置いていかれる子供、人間関係のトラブル・不登校などの問題を抱えているようです。

そんな時、大切なのは逆境に立ち向かう力です。人の気持ちに逆境だからこそ考えるきっかけになって、

力に変える強さを持ってたらいいなと、そんな風に様々なことを感じています。プラスに変える力を持って何事にも立ち向かうことができたらと思います。

AIなどの技術革新が進む Society5.0 という新たな時代に向けて、そして国際競争から日本は脱落しないように、学校教育も新たな対応が求められています。そのためには、ICTを基盤とした先端技術やそこから得られる教育ビッグデータを効果的に活用することで、子供の力を最大限引き出し、公正に個別最適化された学びを実現させていくことが求められ、ICTの活用、オンライン授業に急速にシフトするでしょう。今話題のキーワードであるデジタル教科書、反転授業、GIGAスクール構想などもICT活用が基本です。

今後5年間の狭山市教育振興基本計画も策定中で、この計画を注視しながら、世の大きな変化に対応したSSVCの先駆性、専門性、行動力と役割を明確にして、このコロナ禍の逆境に立ち向かう事がとても大事と思っています。



## 「令和3年度さやま市民大学協賛講座の状況」

調査 G 石井 宏晶

令和2年度は、新型コロナの影響で講座、学校行事が全面的に中止となりました。来年度はWith コロナ禍の状況を踏まえ、従来の対面式授業だけでなくオンライン授業も導入するよう検討しています。

以下に従来の講座と大きく異なるポイントを何点か上げてみます。

### ・元気プラザ教室の利用制限：

土、日、祭日が利用不可となった為、平日の午後開催。「学習支援員養成講座」は、基本的には月曜日の13:30～15:30を予定。教室の人数制限が15人となった為、講師、スタッフを除く、12人を募集。（開講基準は募集定員の60%をクリアすること）

### ・学校行事の制限：

入学式、体育祭、修了式は中止。学園祭はコロナの推移を見極め6月に開催の有無を決定。

### ・コミカフェ営業は安心・安全に出来る方法を検討。

支援員養成講座カリキュラムに「ZoomによるOn-line学習の体験」を企画。（一般にも公開予定）

以下に講座カリキュラムの抜粋を掲載します。

未定 第1回：学長メッセージ放映

4/19 第2回：「さやまっ子」の育成方針

4/26 第3回：ZoomによるOn-line学習の体験

5/24 第5回：子供の心理と支援の在り方

5/31 第6回：小・中学校で学ぶ国語の学習内容

以降 算数/数学、英語の学習内容を実施

未定 第8,13回：支援現場の見学 全15回

※「緊急事態宣言」の発令により開講は未定です。



西中学校の先生が書いてくれた私の似顔絵。似ていますか？



## 学校支援だより

### ウイルス渦中での学校支援

入間川中学校 CN 猪股 英行

2020年の始まりと共に、日本でも「新型コロナウイルス」による肺炎の発症が顕在化し、2月下旬には感染予防策の一環として、狭山市立の小中学校における学校支援は中止になりました。以来、臨時休校や緊急事態宣言などへと深刻さを増し、卒業式などの重要なイベントも取り止めとなり、子供たちはもとより我々も寂しい思いをしました。

ようやく6月1日に学校が再開されることとなり、早速、学校側の窓口である山本教頭先生と相談したところ、即座に、受験を控える3年生を最優先に英・数の支援を依頼したいとの意向でした。他方、市の教育委員会からは、学校支援員が校舎や教室に入ることは、感染拡大の機会を増やすことに繋がる。しかも、支援者に多い高齢者が感染すると重症化し易いので、支援依頼は回避すべきであるとの見解が示されました。結局、上記入間川中での支援を始め、夏期休暇中の補習支援なども全て中止になってしまいました。

SSVCではウイルス渦中でも無理のない支援方法について検討し、2学期が始まる前に教育委員会と話し合いました。その結果、従来からの、クラスの全生徒を対象とする対面支援は行わないが、少人数を対象とする支援や生徒との接触がない別室での支援などを工夫し、校長先生の判断で実施できることになりました。入間川中では、既に、1年生の各クラスを二つに分け、全員がマスクを常着し、南北の窓を開けて換気に務め、机・椅子等の消毒を行うという環境での授業を行う体制ができています。ここに支援員が加わっても三密の心配は殆どありません。昨年末に、英語と数学についての試行を実施済です。

ウイルス渦中での教育手段としてオンライン授業の有効性が脚光を浴びています。GIGAスクール構想によって、所要の機器が本年度中に全校に揃います。ICT技術の導入による新しい支援方法も考えられ、利用可能となる日の到来が待たれます。

### 狭山台小学校開校10周年記念を祝う会

狭山台小 CN 大竹 五郎

武蔵野の雑木林を切り開いて住宅が出来、狭山台南小学校と狭山台北小学校が昭和50年に開校しました。ピーク時は両校併せて約3000名の児童数でしたが、減少が進み平成22年4月にこの2校を統合し狭山台南小学校の場所に新たに『狭山台小学校』を開校しました。そして今年10周年を迎え、『祝う会』で大空に色とりどりのバルーンを飛ばしました。

10周年おめでとう

10周年記念キャラクター  
ふらわあーサン



## 校長先生 こんにちは 27

## 心、豊かな入間野っ子！！

入間野小学校 校長 粟飯原かをり



入間野小学校は、創立42年、児童数458名、16学級の構成で、茶畑やおたかの森に隣接した緑豊かな学校です。SSVCの皆様には例年、様々な場面でご支援をいただいております。

地域の皆様にも登下校の見守りをはじめ、除草や花壇の整備等、美しい環境づくりにもご尽力いただくなど、まさしく地域に支えられた学校と言えます。

本校の教育目標は「なかよくする子」「考える子」「やりぬく子」です。知・徳・体のバランスよく、すくすく、のびのび育てほしいと願い、教職員一丸となって教育活動にあたっております。

今年度は新型コロナウイルスの影響で4月、5月の臨時休校からのスタートで心配しましたが、学校再開後は校内でも始まった『新しい生活様式』にも子供たちもすっかり慣れ、落ち着いた学校生活を取り戻すことができました。

今年度は特に道徳教育と特別支援教育の授業研究

と実践に力を入れて取り組んでおります。道徳教育では昨年度からの道徳の教科化に伴い、昨年度から2年がかりで、よりよい授業づくりの為、指導者を招聘して教材を分析、研究し実践を重ねてまいりました。子供たちは、教材の登場人物に自分を重ねながら思考し、話し合い、さらに考えを深めています。日頃の生活に活かしてくれることと期待しています。特別支援教育では、本年度立ち上がった特別支援学級「さざんか」を育てていくため、全職員が関わり、授業や行事を通じて子供同士の交流を深めています。

道徳教育、特別支援教育を中心に据えて子供たちの心を耕し、心豊かな入間野っ子を育ててまいります。



特別支援学級「さざんか」畑作業



道徳授業研究（1年生）

## コロナ禍に負けない運営委員会開催の工夫

SSVC 事務局長 山田 恵一

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて2月末で学校支援を停止し、3月に予定していた運営委員会と全体CN会議が中止となりました。学校も3月から5月末まで休校となり、6月1日から段階的に授業が再開されたものの「人と人との接触を避けることが感染予防の基本」ということで、SSVCへの支援要請が激減した1年でした。「3密を避ける」ため、運営委員会も3月と4月は中止せざるを得ませんでした。5月からはインターネットを活用してオンラインで開催するようになりました。対面での会議に比べると、ちょっとコミュニケーションとし

ては物足りない感じがありますので、10月には元氣プラザの体育館で運営委員会と全体CN会議を開催しましたが、換気が必要なため、寒い季節では無理があります。また、オンライン会議は自宅から参加できるので、CNの皆さんの傍聴参加が従来よりも多くなる、というメリットも発見できました。文科省の「GIGAスクール構想」への対応の準備として、IT機器の使い方に慣れておくという効果もありますので、今後も便利な道具を上手に使いこなせるように努めたいと考えています。

編集後記：教科書の裏表紙などを見ると、「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」とありUD-FONTのロゴが掲載されています。SDGs達成のため、ユニバーサルデザインの考えで製品やサービスを開発する動きが広がっています。UDフォントとは誰でもが見やすく読みまちがえにくいフォントです。広報紙も28号からUDフォントを採用しました。 木村

この教科書は、以下のような工夫や配慮を行っています。  
 ・全ての生徒の色覚特性に対応するようにデザインしています。  
 ・再生紙・植物油インキを使用しています。  
 ・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

UD FONT